

ニンフェアール 第13回公演

名古屋市市民芸術祭2017参加

# -トリスタン・ミュライユ 70歳記念公演-

## オンド・マルトノとピアノによる作品特集 -



2017.10/1 [日]  
18:30開演(18:00開場)

愛知県芸術劇場 中リハーサル室

名古屋市東区東桜 1-13-2 愛知芸術文化センター 地下2階  
地下鉄東山線、名城線「栄」駅下車、徒歩5分

◆チケット(消費税込み・全席自由)

一般 ¥3,000

学生 ¥2,500 (前売り¥2,000)

\*学生料金は25歳以下対象(要証明書)

未就学児のご入場は、お断りする場合がございます。

◆チケットのお取り扱い・お問い合わせ

愛知芸術文化センターB2プレイガイド 052-972-0430 (月曜定休)

ニンフェアール nymheart@yahoo.co.jp 090-5621-3697

愛知県芸術劇場 052-971-5609

オンラインチケットサービス<http://www.aac.pref.aichi.jp/dm/>

主催 ニンフェアール

共催 愛知県芸術劇場

助成 公益財団法人 全国税理士共栄会文化財団

公益財団法人 朝日新聞文化財団

後援 在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本

アリアンス・フランセーズ愛知フランス協会

日仏現代音楽協会

出演 原田 節(オンド・マルトノ)  
内本 久美(ピアノ)  
市橋 若菜(オンド・マルトノ)  
伊藤 美由紀(作曲)

### プログラム

トリスタン・ミュライユ

マツハ2.5 (1971) (2台オンド・マルトノ)

ガラスの虎 (1974) (オンド・マルトノ, ピアノ)

別離の鐘、微笑み

(オリヴィエ・メシアンの思い出に) (1992) (ピアノ)

オリヴィエ・メシアン

未刊の音楽帖 (オンド・マルトノ, ピアノ)

伊藤 美由紀

空間透明度 (II) (2010) (オンド・マルトノ, ピアノ)

二重星 (II) (2017) (2台オンド・マルトノ) (世界初演)

大西 義明

新作 (2017) (オンド・マルトノ) (世界初演)

\*予告なしにプログラム変更になる場合があります。予めご了承下さい。







トリストラン・ミュライユ  
Tristan Murail

ニンフェアール第13回公演は、2017年70歳を迎えたフランスを代表する国際的な作曲家の一人であるトリストラン・ミュライユの作品、彼に関係する作曲家の作品を特集する。ミュライユは、作曲家メシアンの子であり、また、オンド・マルトノ奏者のジャンヌ・ロリオの弟子でもあった。その為、オンド・マルトノを知り尽くした傑作が多々ある。あまり聴く機会のない2台オンド・マルトノの作品も、オンド・マルトノの日本での第1人者である原田節と、ジャンヌ・ロリオの最後の弟子である市橋若菜による演奏で楽しんで頂く。また、愛知県を中心に国際的に活躍する内本久美によるピアノとオンド・マルトノによる演奏も聴き所である。ニューヨークのコロンビア大学でミュライユの弟子であった伊藤美由紀、大西義明の新作も含まれる。

1928年にフランス人電気技師であるモーリス・マルトノにより発明された電波楽器であるオンド・マルトノも来年で90年を迎える。オンド・マルトノの個性的で魅惑的な音響を堪能できるまたとない貴重な機会となる。

[ニンフェアールについて] 2005年愛知県で開催された国際芸術音楽祭に参加を機に作曲家の伊藤美由紀により結成されたプロジェクト。愛知県にゆかりのある作曲家、演奏家を国内外から招聘し、テクノロジーを利用したり、映像作家とのコラボレーション、文学をテーマとしたコンサートなど、個性的なアイデアで精力的に企画を行う。2014年第10回公演『東洋と西洋の絃』にて、チャレンジ精神に満ちた企画で且つ公演成果の水準の高い優れた公演に送られる、第14回佐治敬三賞を受賞。



原田 節 (オンド・マルトノ) Takashi Harada, ondes martenot

3歳よりヴァイオリン、7歳よりピアノを始める。強烈な自己表現能力に優れたオンド・マルトノとの出会いを機に、慶応義塾大学経済学部を卒業後渡仏、パリ国立高等音楽院オンド・マルトノ科を首席で卒業、オンド・マルトノを独奏楽器として扱う世界で数少ないソリストとしての演奏活動を開始した。ピアノを遠山慶子、オンド・マルトノをジャンヌ・ロリオ女史に師事。作曲家としても、オーケストラ作品から独奏曲、また数々の映画やアニメに至るまで幅広い分野でその才能を披露している。出光音楽賞、横浜文化奨励賞、ミュージック・ベンクラブ賞など受賞も多数。また、20世紀を代表するフランスの作曲家オリヴィエ・メシアン作曲「トゥランガリーラ交響曲」のソリストとして、日本国内はもちろん、カーネギーホール、ベルリンフィルハーモニーホール、シャンゼリゼ劇場、パリ・オペラ座、ミラノ・スカラ座といった主要な劇場における世界最高峰のオーケストラとの共演は20カ国300回を超える。2016年5月にはピアニストとしても、フランス・プーランクのピアノ協奏曲をシンフォニエッタ静岡と共演。http://harady.com/onde/



内本 久美 (ピアノ) Kumi Uchimoto, piano

祖父・内本實の指導の下、ピアノを始める。原智恵子、深沢亮子諸氏に師事した後、渡伊。モンテヴェルディ音楽院を最高点で卒業後、イモラ・ピアノ・アカデミーのソロコースにてL.ベルマン、A.シフ、A.ロンクイッヒに学ぶ。1994年よりアンサンブル・イカルスのソロ・ピアニストに迎えられ、現在に至る。マンゾーニ、ブッソッティなどイタリアを代表する現代作曲家の作品を数多く初演。ヨーロッパ各地、北米、南米、ロシアの劇場や現代音楽芸術祭へ招聘を受けてコンサートツアーを行う。ストラディヴァリウス、リコルディ他からCDをリリース。愛知県立芸術大学音楽学部准教授、金城学院大学非常勤講師。



市橋 若菜 (オンド・マルトノ) Wakana Ichihashi, ondes martenot

千葉大学卒業、同大学院修了。原田節氏にオンド・マルトノを学び渡仏。パリ、スコラ・カントルム、オンド・マルトノ科演奏家課程を審査員特別賞つきの満場一致にて修了。故・ジャンヌ・ロリオ女史に師事し最後の弟子となる。ロリオ女史の推薦でメシアン『トゥランガリーラ交響曲』のソリストとして英国に招待されて以降、フランス各地のフェスティバルに出演し好評を得る。帰国後はサロンコンサートから各種イベント、ライブハウス、教育機関等での演奏・講義、ラジオ・TV出演など様々な分野で活躍。新作の初演、録音などジャンルを超えた幅広い音楽観でオンド・マルトノの魅力を広め続けている。CD「市橋若菜 オンド・マルトノの世界 I・II」発売中。http://www.ondes-martenot.com/



大西 義明 (作曲) Yoshiaki Onishi, composition

1981年北海道函館市生まれの作曲家、指揮者。16歳より渡米。コロンビア大学作曲家修士及び博士課程修了。作曲をファビアン・レヴィ、フレッド・レーダール、トリストラン・ミュライユ、論文指導をジョージ・ルイス、指揮をジェフリー・ミラスキー各氏に師事。2004年と2008年、札幌のパシフィック・ミュージック・フェスティバルに作曲コース生として参加。一柳慧、細川俊夫各氏に師事。作品はドイツ・ベルリンのEdition Gravisより出版されている。2011年ガウデアムス賞(オランダ)受賞。第24回および第26回芥川作曲賞ファイナリスト。http://www.yoshionishi.com



伊藤 美由紀 (作曲) Miyuki Ito, composition

愛知県立芸術大学、マンハッタン音楽院修士課程修了後、コロンビア大学(ニューヨーク)で作曲をトリストラン・ミュライユに師事、博士号を取得。文化庁芸術家在外研修員としてIRCAM(フランス国立音響音楽研究所)にて研鑽を積む。世界各国のコンクール、音楽祭に入賞、入選し、国内外で作品の発表を続けている。また、ニンフェアール、JUMP (Japan-USA: Musical Perspectives/日米:新しい音楽の展望)の代表として自主企画公演を定期的に展開。ニンフェアール第10回公演は、第14回佐治敬三賞受賞。《時の砂》がALCD80からリリース。ミラノのスヴィーニ・ゼルポーニ出版社からフランコ・エヴァンジェリステイ国際作曲コンクール優勝作品《古代の息吹をしのぶ...》の楽譜出版。執筆活動として、『音楽現代』に特集記事や公演批評を寄稿。メキシコのコンピュータ音楽雑誌『Ideas Sonicas』に自作品の分析論文(英語)が掲載。名古屋芸術大学、千葉商科大学、愛知県立芸術大学大学院、愛知県立大学、四川音楽学院(中国)などで、後進の指導にもあたっている。http://www.miyuki-ito.com